

KYOTAMBA TOWN

京丹波

議会だより

第38号

[平成26年2月17日]

発行 京都府京丹波町議会

12月定例会

- 2P 補正予算 台風18号の災害復旧に
- 5P ここが聞きたい 一般質問に12人
- 17P 追跡調査 あれからどないなっとるんや〜?
- 18P 人(ひと) — 住友真一さん(富田区)



京丹波町

無病息災の願いを込めて(質美下村区)

議会ホームページアクセス件数
975,043件(H26.2.2現在)前号より640件増



補正予算 台風18号の災害復旧を第一に

25年第4回定例会は、12月5日から24日までの期間で開催されました。本定例会には、人事案件、条例の制定と改正、一般会計・特別会計補正予算など25件が提出され、うち24件を同意・可決し、1件を否決しました。また、12人の議員が一般質問を行い、36項目について執行部の所見をただしました。なお、本定例会には、20人の方が傍聴されました。

主な補正(一般会計)	
災害復旧事業	5億3295万円
農地保全事業(災害復旧補助金)	5940万円
被災者住宅等支援補助金	850万円
災害見舞金(台風18号関連)	61万円
衛生管理組合分担金(台風18号災害廃棄物等処理分)	342万円
道路新設改良事業	1億1698万円
京都府知事選挙事務経費	695万円
犯罪被害者等見舞金	30万円

補正予算

一般会計

台風18号災害の復旧費が増額され、災害見舞金や床上浸水被災者住宅等支援補助金など、事業の進捗に伴う補正がされた。

主な質疑

問 災害見舞金、被災者住宅等支援補助金要綱の公布日はいつか。
課長 災害見舞金は、11月29日に公布している。住宅等支援補助金は、予算が通れば告示する。

問 予備費の充当など手法があるが、なぜ早期に支給されなかったのか、経緯と考え方を聞く。
課長 申請受付開始以前に住宅再建工事が完了の場合でも、制度の適用が可能である。罹災証明を持つている

問 用地については道路部分も含め、まだ整理できていない。
問 グリーンランドみずほのホッケー場は、2年後に全国インターハイが予定されており、全面改修が必要では。
課長 今回、2カ所を計上しているが、工事

方、床上浸水などの対象者に説明している。
町長 見舞金や災害補助金は、早期に実施するものと考えている。意見をいかしたい。
問 時間外勤務手当が今回追加され、総額8472万円となる。過重労働につながるような臨時職員の採用を考えるべきではないか。
町長 残業が増えており、嘱託、臨時、OB職員などの対応を指示している。

問 今回、町道認定が提案されたが、丹波パークエリア関連の用地費は最終どうなるか。
課長 用地については道路部分も含め、まだ整理できていない。

問 指定管理者の指定
課長 指定の期間は26年4月1日から31年3月31日までの5年間。
問 道の駅に集積されている食材を使い、出荷者を交え生産者協議会(仮称)を設立し、取り組みができないか。
町長 食彩の工房やマスターズハウスをそれぞれで実施していか協賛した方がよい。

行われた。

条例の制定、改正

犯罪被害者等支援条例の制定

課長 現在3千トンを取水している。ダムの水質は、原水の水質検査を京都府と実施し、9月ごろに多少臭気、芝臭いとの判定がされたが、通常の浄化処理で給水している。高度処理施設は、基本計画の中で検討する。

犯罪被害者等の支援をしていくための施策に係る事項を定めるもの。「全員賛成」

下水道事業会計

課長 夏場の時期になり長期の入院が多くあり、利用人数が減少し減額となった。今回は特徴的なことで、全体的な流れのなかで、計画どおり進んでいる。

問 管きよ工事費1200万円減額は、グリーンハイツの事業であるが、今後どのように進めていくのか。
課長 22年度に423戸調査した結果、誤接続などが94戸あり、全ての戸数を調査し、今後どのように配管していくか検討する。

水道事業会計

課長 いじめは犯罪等に該当すると考える。町内での事例は、犯罪等という意味であったと思う。個人のプライバシーの重要性などについて啓発したい。

問 国民健康保険条例の一部改正
課長 国民健康保険事業会計・三ノ宮財産区会計・病院事業会計などについても所要の補正が行われた。

問 ホッケー場の芝生と管理棟の鉄柱が剥げて錆びているが、管理に含めるのか。
課長 軽微な修繕はグ



台風18号河川災害(高屋川 橋爪地内)

費が高額になることが課題と考えている。
問 子ども子育て支援システム改修の内容は。
課長 保育制度が変わるため、保育が必要か、教育が必要かなどで認定が必要になり、システムの改修を行う。

介護保険事業会計

問 施設介護サービス5594万4千円減額の原因は。また、介護保険事業計画と比べ、どういう状況なのか。

課長 夏場の時期になり長期の入院が多くあり、利用人数が減少し減額となった。今回は特徴的なことで、全体的な流れのなかで、計画どおり進んでいる。

問 ダムからは1日どれくらい取水しているのか。また、ダムの水は、上流に酪農地帯もあり、高度処理施設を整備することであったが、水質はどうなのか。

その他会計

国民健康保険事業会計・三ノ宮財産区会計・病院事業会計などについても所要の補正が行われた。

税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、延滞金の割合の特例の見直しや住宅借入金等特別税額控除

問 町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
課長 配偶者からの暴力の

一般質問 **ここが聞きたい**



梅原 好範 議員

普通教室に 空調設備の設置を

教育長 設備の充実に向け計画的に取り組む

問 地球温暖化に伴う気温上昇などの影響を受け、夏季における子供たちの就学環境は大変厳しい現状にあり、教育環境整備の課題として、普通教室への空調設備の設置が求められている。

答 空調設備の必要性を訴えるなかで、今秋をめぐりに実施された、就学環境調査の結果および分析に基づいた整備の方向性を問う。

教育長 6月から10月にかけて実施した測定結果によると、今夏は猛暑であったことから普通教室は大変厳しい暑さであったと考える。児童生徒の健康面、学習面から見て、空調設備の必要性は認識しており、今後は施設設備の充実に向け計画的に取り組む。

台風18号による
甚大な災害の復旧

今回の災害に即応

し、本町では復旧にかかる補助金制度を創設した。

この制度は広く町民に認知されたいので、1人でも多くの被災者の再建に向け、有効に運用されつつあるのか、その申請状況を問う。

町長 土砂等撤去補助は3件、農林業施設の災害復旧にかかる補助は108件である。内訳は農地・農業施設87件、林道・作業道10件、有害鳥獣被害防止施設10件、内水面漁業施設1件の申請があった。

問 今回の災害対応時には、気象庁の「特別警報」が運用開始後初めて発令され、厳しい状況のなかで活動が行われた。貴重な教訓として今後の防災活動にいかすためにも、本町防災計画に基づき、協働した関係機関による総括が必要であると考えるが、今後の対応方法について町長の考え



元気な子供たちを育む普通教室 (和知小学校)

方を問う。

町長 今回の経験を今後の災害対応に役立てるよう、各区長をはじめ関係機関の意見を聴取しながら課題を抽出し、総括していきたい。

寺尾町政の2期目のまちづくりは

問 寺尾町政2期目のスタートにあたり、町民に示す具体的なまちづくりの方向性、重点的に取り組む課題を問う。

町長 町民の安心感と幸福感の創出を基軸とし、関係機関が連携した特色ある「教育」、地域包括支援体制充実による「医療・介護・福祉」、災害などに備えた「安全」、活性化基盤強化に向けた「産業」、循環型地域社会経済を目指した「農林水産業」の5項目を重点施策として取り組む。また、先行取得用地の解決と活用に全力を尽くす。

町道の路線認定、変更及び廃止

地域振興拠点施設及び縦貫自動車道の整備に伴い、町道の認定、変更及び廃止を行うもの。
[全員賛成]

町営土地改良事業の施行

台風18号の豪雨により被災した農地及び農業用施設のうち、20件の災害復旧工事について、町営土地改良事業として施行するため、土地改良法の規定によ

意見書

「特定秘密保護法の撤廃を求める意見書」について

提出者 東まさ子議員 賛同者 2人

問 提案者は法の趣旨について、どのように考えているのか。また、衆参両議院で可決され、撤廃は難しいことであるが、町議会として出す意味はあるのか。

提出者 審議が不十分であり、今なお多くのみなさんが法律の危険性を訴えている。法案

の施行をさせてはいけない。国民の知る権利を狭めるのは、危険なことにつながる。

賛成討論 坂本美智代議員

この法律は、憲法の国民主権、基本的人権、平和主義に真っ向から反することから、違憲立法は廃止しかない。

[賛成4 反対10]

「後期高齢者医療に係る不均一保険料制度の特例期間延長を求める意見書」について

提出者 福祉厚生常任委員会委員長

医療費の地域格差の特例(経過措置)として、医療費が低い市町村の被保険者の負担を軽減することができ、期間は、20年度から25年度までの6年間とされている。

しかし、本町の24年度における1人当たりの給付費は、府内平均よりも低く、高齢化、過疎化が進む町村にお

いては、医療費は6年前からほとんど変わっていないのが現状であり、今後においても急増するとは考えがたい。よって、不均一保険料の適用については、現行制度が廃止されるまで、適用期間を延長することを強く求める。

[全員賛成]

人事(敬称略)

副町長 島中 源一(下大久保) 再任

教育委員会委員 藤田 道子(西河内) 新任
櫻井 博規(三ノ宮) 再任

監査委員 小畑 圭一(南丹市) 新任
片山 俊明(本庄) 新任

公平委員会委員 藤田 道子(西河内) 新任
櫻井 博規(三ノ宮) 再任

固定資産評価審査委員会委員 杉本 貢(市森) 再任

人権擁護委員候補者 湊 令子(須知) 新任
堀川 好(小畑) 新任

選挙管理委員会委員 人見 亮(豊田) 新任

選挙管理委員会委員 湊 敏(須知) 新任
田中 強(鎌谷中) 新任
正田 恭丈(小畑) 再任

選挙管理委員会委員(補充員) 十倉さちよ(安栖里) 再任
鈴木 修(保井谷) 再任
小倉さくみ(蒲生) 再任
比村住ノ江(下山) 再任

平成25年12月定例会

賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案については、全会一致で賛成しました。

審議結果	議員名	森田	松村	原田	梅原	山下	坂本	岩田	北尾	鈴木	篠塚	東	山崎	村山	山田	山内	野口
	議案名等	幸子	篤郎	寿賀美	好範	靖夫	美智代	恵一	潤	利明	信太郎	まさ子	裕二	良夫	均	武夫	久之(議長)
可	副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
否	特定秘密保護法の撤廃を求める意見書	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	×	欠	×	—

議長は採決には加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席



山崎 裕二 議員

PTAと共同した「町長と語るつどい」の開催を

町長 いつでもOKなので要請に応じて可能な限り対応する



熱心に耳を傾けるみなさん(上野区)

問 町長と語るつどいの参加者は減少傾向にあるが、なぜだと考えるか。
町長 要望などを実現していくなかで、住民のみなさんから評価していただけではないかと思っいる。今後、語るつどいを開催する考えか。

町長 アンケート回答からも継続して、開催してもらいたいという声が多い。今後内容などを検討しながら、開催していきたいと考えている。私自身は町民のみなさんと対話することが、行政運営するなかで重要だということを認識している。

問 参加者のアンケート回答者の年齢構成比は、40歳代以下と50歳代を合わせて30%強にとどまっている。このことから、今までの夜の開催だけでは、子育て世代にとっては参加するのも難しいと推察する。

PTAとの共同開催を

問 そんななかで、いろんな意見を聞かせていただき、本当に有意義であった。直接、話を聞くことに意義があると感じた。

問 語らいのなかで、最も重視する点は何か。
町長 参加者数が減ってきたのは、安心してもらったということでもあるのではと思う。最初は心配して多くの方がこられ、町長どんな人かなということ、覗いてもらったりもした。

そこで、保育所・幼稚園・小学校・中学校の参観日など、学校行事の前後に、会場(体育館、ホールなど)を借りて、つどいをPTAと共同開催することは、意見を幅広く取り入れていく上で大事である。早速、次回からの予定に組み込む考えはないか。

町長 私の気持ちでは、いつでもOKである。その上で多くの方々に参加いただきやすい環境を整えたいと、まず思う。PTAとの共同開催については、限られた時間のなかで同時に開催することは難しいところもあると考える。

個別の開催は要請をいただければ、可能な限り、対応させていただくというのが私の姿勢である。

一般会計からの国保事業への基準外繰り入れは



村山 良夫 議員

町長 26年度予算編成には考えていない

問 安定的な運営の要となる25年度末の運営基金の見込み残高は。課長 1億3千万円余りである。
問 安定的な運営に必要な基金残高は、約2億8千万円と聞いている。予定基金残高は約1億5千万円の不足である。一方、給付額は過去4年間の平均で、年間約4千万円のペースで増加している。改善対策は保険税率の引き上げか、一般会計からの基準外の繰り入れ(国)を行うしかないかと考えるが、町長の見解を伺う。
町長 保険税率の引き上げも、一般会計からの繰り入れも考えていない。
問 現状のまま放置しておれば、数年後に行き詰まる懸念はないか。
町長 そのような心配はしていない。

問 運営基金は1億3千万円余りであり、年々増加する給付金を勘案すれば、3年余りで行き詰まることは必至である。
町長 本町よりも高齢化比率が高いにもかかわらず、一般会計額と国保事業額の比率が、本町の半分程度と安定した国保事業の運営をしている自治体もある。今後、一般会計から基準外の繰り入れをする場合、国保の加入者以外である約6割の町民に理解を得る必要がある。
そのためには、運営責任者として、理事者・議員・職員の総人件費の縮小をした予算編成をすべきでないか。
町長 運営上の責任があれば、そのような考えもあり得る。

運営者としての責任は

浅田農産鶏舎の撤去工事の予定は



10年間も放置のままの鶏舎(安井地内)

問 16年に発生した鳥インフルエンザ事件から10年の歳月が経過したが、鶏舎は放置されたままである。
当時、犠牲的精神で鶏などの埋設用地を無条件で提供した地元住民は、鶏舎の施設が存続する限り、いまだに風評被害に苦しんでいる。行政への信頼を回復するためにも、1日

でも早く解体すべきと考える。
25年度予算で、解体費用の算出業務が委託されたが、その金額と着工時期を伺う。
町長 算出金額は約2億円、着工時期は来年度当初予算編成前であり未定である。
【注 基準外繰り入れとは】
国が示した基準に基づかない一般会計からの繰り入れのこと。交付税措置はない。



森田 幸子 議員

胃がん予防に ピロリ菌検査導入を

町長 予防対策を医師会や京都府などと相談し検討する

問 胃がん検診受診率が20%台と大変低いが、受診率向上に向けての対策は。

町長 国において胃バリウム検査にかわる検診を検討中であり、国の動向を見ながら検診の方法について医師会とも調整し考える。

問 25年2月よりピロリ菌感染による慢性胃炎にも、保険が適用されることになった。

町長 慢性胃炎の段階で除菌治療を受ければ、将来的に胃がんなどの予防にもつながると言われている。ピロリ菌検査を導入する考えは。

町長 ピロリ菌を早期に発見し治療に結びつけることは、将来的な胃がん予防対策として有効とされ、集団検診で実施し、治療に円滑に結びつく方法を医師会や京都府なども相談しながら検討する。

問 高齢者の交通事故防止を目的に、高齢者の免許自主返納支援として、住民基本台帳カードの発行手数料の助成と、町営バスやタクシーの乗車券配布などを導入する考えは。

町長 返納後における高齢者移動対策の充実確保の観点から、社会実験として買い物物送迎サービスによる実証実験を含め、関係課による検討を行っている段階である。自主返納に対するいろいろな施策に、真剣に取り組む。

自転車通学時の危険箇所点検を

問 中学・高校生の自転車通学で、特に冬場は暗く危険なところがたくさんあるが、危険箇所の調査をする考えは。



自転車通学 気をつけて（蒲生地内）

教育長 中学生においては下校時間を通常より早くしている。冬場に限りバス通学の実施をしたり、複数下校の指導などもしている。防犯灯が必要な箇所については、学校とも連携し実態把握に努める。

問 高校生となれば、和知・瑞穂と遠方からの自転車通学となる。高校生の安全対策も進めていく考えは。

教育長 本年度から通学路安全推進アドバイザーによる通学路の危険箇所の対応を強化している。高校においても生徒指導を徹底し、事故防止に努める。

問 中台区から瑞穂ゴルフ場までの町道が大変暗くて、自転車などの通行が危険な道である。防犯灯の設置を。

町長 街灯設置補助金で区において設置することになっているが、支所長と相談し対応する。

合併して良かったと思える町とは



岩田 恵一 議員

町長 旧町の垣根を越え一体感あるまちづくりを進めたい

問 現状課題に積極的な施策の方針が示されたが、合併して良かったと思える町とは。

町長 不安に思い不便を感じることもなく、現地現場主義で臨み、一体感あるまちづくりを進めたい。

問 丹波・瑞穂地区と和知地区をネットワークで結ぶ路線を開設する考えはないか。

町長 必要性は認識している。国・府に対しインフラ整備の要望を行っている。

問 災害や緊急時の本部となる役場本庁舎を新築する考えは。また、基金の創設はどうか。

町長 検討はするがこの4年間は念頭にない。基金積立は考えたい。

合併特例期限後の財政運営はどうか

問 特例期限後の財政運営の見通しと課題は。

町長 交付税は28年度から段階的に減額され、

33年度には約11億円減少の見込みで、そのほかの収入も期待できない。

社会保障費も増加するなか、事業の選択と集中に努め創意工夫し、効率的な財政運営を図っていく。

塩漬け土地の有効活用と企業誘致の取り組みは

問 土地開発公社からの買い戻しも含め、塩漬け土地の活用策と企業誘致の取り組み状況は。

町長 立地条件は整ってきたなかで町内企業にも活用を働きかけた。また、食のまち「京丹波」として企業誘致に積極的に取り組む。

小中学校の空調設備を進めるべき

問 本年の温湿度測定結果をふまえ整備すべきではないか。

教育長 健康面、学習面から必要性は認識し



着工中の特別養護老人ホーム（蒲生地内）

ており、計画的に取り組んでいく。

高齢化社会に対応したまちづくり計画は

問 京丹波町高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画の進行状況とその成果や計画における今後の課題は。

町長 元気で安心して住み慣れた地域で暮らし続けたいというニーズを目標とし、特別養護老人ホームの満床状態の解消から、本年度は29床確保、次年度は30床増床予定である。また、独居高齢者低所得者向け安心サポーターハウスの開設も予定している。

ヘルパーなど人材確保にも努め、関係機関とも連携して本町方式の地域包括ケアシステムの構築を図り、持続可能なものとするのが課題である。



原田 寿賀美 議員

全国初の「特別警報」が発令されたがその対応は

町長 広報やCATVの告知放送で注意喚起を図っている



冠水した府道市島和知線（中地内）

問 今回の台風18号による災害時には、8月に運用が開始された「特別警報」が発令されたが、町民への対応は十分であったか。

町長 町民には広報やCATV告知放送で注意喚起を行った。特別警報および避難対応については、今後も引き続き周知を図っていく。

問 災害実態の把握および災害復旧の計画は、

町長 農地の畦畔崩壊や土砂の流入が287カ所、農業用水路・農道などの施設の災害が205カ所、林道災害が172カ所、道路・河川災害が378工区であった。

問 現在の町内の治山ダムの設置は何箇所か。

町長 現在町内の治山ダムの設置は何箇所か。丹波地区に29基、瑞穂地区に75基、和知地区に192基の合計296基となっている。



篠塚 信太郎 議員

台風18号で床上・床下浸水した地区の治水対策を

町長 抜本的な改修が必要であり関係機関に要請する



台風18号で床上・床下浸水した和知中地内

問 台風18号で床上・床下浸水した須知川、由良川などの治水対策を早期に実施すべきでは。

町長 指摘の河川は、抜本的な改修が必要であり、関係機関に計画策定を要請していく。

問 須知川本町地内は、改修計画ができていないが、計画図は策定されているが、計画図は策定されていない。地元

町長 指摘の河川は、抜本的な改修が必要であり、関係機関に計画策定を要請していく。

問 須知幼稚園は老朽化し、上豊田保育所下の総意が必要となる。

町長 和知中地内の治水対策は、防水壁を設置し、大西川はカルバート（暗きよ）で排水する方法はどうか。



坂本 美智代 議員

消費税増税で 町民に与える影響は

町長 住民の暮らしに大きな影響を与える



消費税増税による商店街への影響は（須知地内）

問 消費税の増税に対し、町長は歓迎すると答弁であったが、町民に与える影響をどう見ているのか。

町長 消費税の引き上げは、住民の暮らしに大きな影響を与える。消費税は低所得者ほど負担が重くなる税であり、消費税を上げること消費は増えると思うか。

町長 消費は増えないと思う。

バス代の保護者負担軽減を

問 6月議会において遠距離通学を余儀なくしている児童生徒に対し、バス代の一部負担を無料にする考えを質したが、負担軽減はしているとのことであった。負担軽減というの

問 丹波地区での学童保育の実施箇所は1カ所であり、校区単位での実施を望む声を聞くが考えはどうか。

教育長 現時点では考えていない。今後、ニーズ調査をしているため、子ども・子育て審議会において議論をしていく。

通学路の安全対策の状況は

問 通学路の安全対策は順次、改善改修されているが、要望も含め国道・府道・町道で未

問 安心して暮らせる環境づくりが重要として、地域包括ケアシステムを取り組むとしている。しかし、地域包括の柱である24時間地域巡回型サービスを実施している自治体は1割程度であり、導入に目途が立たない市町村が圧倒的である。本町の事態に合った制度の見直しはどうか。

町長 2月にニーズ調査を実施する予定であり、実態を十分把握し事業所とも連携しながら、サービス提供が可能な体制づくりを検討していきたい。

問 実施箇所はあるのか。

町長 未実施箇所は18カ所、現在、4カ所着手中である。残る14カ所は対応が難しいこともあり、内容変更も含め検討中である。

地域包括ケアシステム実施の見直しは

白土橋の 事業化の見通しは



松村 篤郎 議員

町長 現在業務発注に向け取り組まれている

問 国道27号白土橋の歩道橋設置事業化の見通しは。

町長 本年度測量調査費が予算化され、業務発注に向けて取り組まれている。

今後「中山白土から京丹波をつなぐ会」とともに早期実現に向けて取り組む。

道路・交通行政は

問 グリーンハイツ区内の道路の町道認定に向けて、区に対し指導や協力をすべきでは。

町長 町道認定基準要綱と町道路用地の寄附受入事務取扱要綱に基づき、同要綱に合致すれば寄附を受け入れる。今後、グリーンハイツ区とも協議を行っていく。

問 国道27号黒瀬区内の速度制限の変更要望について、関係機関への申請状況は。

町長 速度制限変更の要望がある一方で、現

状でも良いという意見もあり、区あるいは沿線住民の総意を示していただきたい。区長を中心にまとまった要望を受ければ、南丹警察署などに要望する。

問 府道京丹波三和線、下山工区の地元説明会をすべきでは。

町長 下山工区について1・5車線の改良として、計画の地元調整を進めると聞いている。その機会をとらまえて説明会の要望をしていく。

町の森づくり計画は

問 低迷している木材価格の状況下で、伐期の木材の効果的な対処はあるのか。

町長 今後、10年間森づくり計画を進めていくなかで、町内産木材が高く売れるよう対策を講じていく。

そのためには、生産面では担い手育成や生産基盤の整備により優



町道認定要望の町営バス路線（グリーンハイツ地内）

良な木材を生産する。消費面では、一般住宅に本町産の木材を使用する仕組みをつくるなど、木材の需要拡大と地産地消に向けた取り組みを進める。

また、森林をフル活用するため、新たな森林産業に向けて研究を進めていく。

問 山林・山地の防災

計画は。

町長 山地などの防災計画はない。治山事業の要望が町内で30カ所ある。府に対して毎年要望している。地域でも森林保全を計画的に実施することが、山地防災につながる。作業道は防災面に留意し、取り組む必要がある。



山田 均 議員

住宅改修補助金制度の 継続を

町長 次年度以降は検討中である



工事中の(仮称)ハイウェイテラス・京たんば(曾根地内)

問 地域経済の活性化と循環型経済対策として、実施している住宅改修補助金制度は、15倍の経済効果を上げている。引き続き実施する考えはないか。

町長 次年度以降は検討中であり未定である。

問 地元の零細業者の発注機会を増やす小規模工事契約希望登録制度を実施すべきと考えるがどうか。

町長 小規模工事、修繕工事などは、指名登録業者以外も随意契約

業者として選定し、町内業者の受注機会の確保に努めている。

問 下水道事業の分担金の105万円(特定環境公共下水・農業集落排水)は近隣市町と比べても非常に高い。まちづくりからも見直しをすべきでは。

町長 提案も含め、問題点がないか検討している。

下水道などの
加入分担金の見直しを

町長の姿勢を問う

問 ダムからの取水は、企業誘致のためではなく、町内企業の要望と開発団地での増加をもとにしたものでなかったのか。

町長 水が確保でき、新たな企業誘致環境が整ったと表現できる。

問 (仮称)ハイウェイテラス・京たんばは縦貫道から一方通行の出入口で、新たな玄関口と言えるのか。

町長 どこからでも人は出入りできる。

問 町の発注する公共工事に、親族企業グループとの契約はおかしいとの声が多くあるが。

町長 問題はない。

問 駆除員は猟友会の会員になり、2年間の研修期間が必要となっているが、研修会は実施されていない。町が主導すべきではないか。

町長 猟友会に伝え、聞いておきたい。

問 秘密保護法は、何が秘密なのか秘密で、秘密を決めるのは官僚と政府、チェックするのは首相で、世界でも例を見ない法律である。憲法で保障された国民主権、基本的人権、平和主義に反する違憲立法は廃案しかない。町長の見解は。

町長 国会で審議され、成立した法律と認識している。

国民主権に反する秘密
保護法は憲法違反

米軍レーダー基地
配備計画に反対を

問 京丹後市に米軍のレーダー基地配備計画がある。基地の受け入れをしないことが最善の策であるが、町民の命、暮らし、安全を守る町長の見解は。

町長 見解を申し述べた立場ではない。



東 まさ子 議員

後期高齢者医療の 不均一保険料の継続を

町長 今後も必要な制度であり、広域連合に要望したい

問 本町の医療費は府内平均より低い。そのため、25年度末まで保険料の特例措置がとられてきた。今後も医療費が急増するとは考えにくい。不均一保険料の継続が必要では。または対策を要望する。

町長 広域連合に継続、または対策を要望する。

活性化策の具体化を

問 道の駅や観光施設の活性化を検討することだが、本町が40%出資している丹波地域開発株は、大幅に職員を削減されたと言及が。

町長 細かい経営内容は承知していない。

問 与謝野町では、職員による企業や商店の訪問調査を実施している。本町でも実施する考えは。

町長 大事なことであり、誘致した企業に正規雇用を働きかけるとともに、須知高校生の

就職枠など求めるべきではないか。

町長 要望したい。

問 地元業者が町外業者に太刀打ちできないという声もあるが。

町長 優先的に受注できるよう考えている。

**最少の経費で
最大の効果となるか**

問 地域拠点施設は、予定価格7億4700万円と同額で落札された。設計、建設、運営を一括して競争入札で行うDBO方式で、財政負担が7%、5300万円削減できるとされる根拠はなにか。

課長 予定価格を定める段階で10%の削減効果があるが、設計、建設、事業の運営など提案内容について確認するモニタリング業務に3%必要で、7%の削減になる。

問 町の平均落札率83・5%を基に試算すると、従来方式の方が安



節水に努力しています

くなるのでは。

課長 提案内容の評価もあり、金額だけでは判断できない。

期日前投票所の変更を

問 役場での投票は、住民の出入りもある力ウンター近くである。秘密保持の立場からも変更する考えは。

町長 選挙管理委員会に伝える。

基本水量の見直しを

問 本町の水道料金は

府内でも高い。また、基本水量を使っていない世帯は37%もある。節水努力を料金に反映する考えはないか。

町長 議決を得たばかりであり、見直しはあり得ない。

国保税の引き下げを

問 引き下げの考えはないか。

町長 引き下げは困難だが、国、府に財政支援の拡充を要望したい。

第15回 追跡調査

24年12月の質疑から

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

あれから どないなっとるんや〜？

問 耐震診断の結果で休園が続く下山分園の対策と、存続を望む要望については。

町長 地元や関係のみなさまの意見を聞きながら、将来的な児童数の動向や耐震補強に要する費用面などを考慮し慎重に判断する。

問 子ども・子育て支援事業計画に向けた、ニーズ調査と子育て会議の設置の考えは。

町長 ニーズ調査と子育て会議設置に向け検討する。

まだこうなんや〜！

「京丹波町子ども・子育て審議会」の答申を受け、慎重に検討する。



こうなった！

25年8月27日に「京丹波町子ども・子育て審議会」が発足し、今秋には小学生以下の児童を対象としたニーズ調査を実施し、結果は事業計画の検討に反映するとともに、その後の施策展開に活用する。



寺尾町政1期を 振り返っての所見は



鈴木 利明 議員

町長 常勤医師の確保が安心の突破口となった

問 この4年間、町民の閉塞感を払拭し町民視線に立った諸施策を着実に実行し、寺尾町政の基盤を創られたと考えるが、この1期4年を振り返っての所見は。

町長 常勤の医師を確保できたことは、安心の突破口となった。また、要望に基づいた施策を打ち出したことが受け入れられた。

産業の振興策

問 畑川ダムの完成、京都縦貫自動車道の完成を控え、企業誘致を積極的に取り組むことを表明された。これには、的確な企業動向の情報入手が決め手と考える。

何でも相談してもらえる体制づくりが絶対的に必要であるが、所管窓口はどこか。また、企業への特例措置は。

町長 窓口は産業振興課で、職員1人を外部

に派遣しており、誘致戦略を習得させたい。

課長 企業立地促進条例を設けた。

一定の要件はあるが、企業が新設などをした場合に固定資産税相当額を企業立地奨励金として交付する。あわせて、新たに雇用される町民1人につき15万円の雇用促進奨励金も支援する。

農林業の振興策

問 鳥獣被害対策を今後とも最重要課題として取り組み、一層の被害防止と捕獲の強化を

図ると表明されている。農作放棄地が広がっていくなかで、鳥獣被害の増大に町民は困り切っている。町長の見解は。

町長 重要課題と認識している。現状、効果は上がっていないが、慎重かつ大胆にやる時はやる方針である。

町長 防護と捕獲に尽きる。しっかりと対応していきたい。

課長 今年度から府の制度として、狩猟期間に捕獲したシカは、4頭目から10頭目まで最大7頭分を1頭につき4千円の捕獲奨励金が出る。その期間以外、町の有害鳥獣対策事業として捕獲奨励金対象となる。これにより、年間を通じた捕獲強化が図られる。



着々と進む縦貫道工事（井脇地内）

京丹波牛は

脂の甘味がちがいます



今回は、昨年10月、京丹波食の祭典2013で屋台グランプリを受賞された「ロコモコ丼」でおなじみの喫茶店(富田区)のご主人 住友真一さん(42)にお話をうかがいました。

から引き継いで、店を1人で切り盛りしだして、10年になりました。

「ロコモコ丼に京丹波町の食材は使われていますか。」

丹波牛を合い挽きミンチにして使っています。ほかのミンチより、脂の甘味などがおいしく、「グラム以上にポリウムがあるね」とよくいってもらいます。あと、お米も地元産のもので

「住友さんは冬ほたるのメンバードでもありますが、昨年の冬ほたるの感想は。」

来ていただくお客さんそれぞれに歴史、ドラマがあるように、それぞれの思いで観ていただけたかなと感じています。

今年はメンバーの意識も例年以上に高く、準備段階でもネット状のイルミネーションを使うなど、みんなでアイデアを出

し合い、取り付け期間も例年の半分くらいで、効率よくできました。

「京丹波町の魅力は。」

「食」に関連して、魅力的なものがたくさんあると思います。食の祭典などを通じて、最近、みなさんの意識も「食」に向いてきたかなと思っています。

もともとあって、当たり前と思っていたことが、いろいろなイベントなどを通して、改めて地元の人にも、そのよさを気づいてもらえて、とてもよかったです。

「議会だよりやケーブルテレビの議会放送をご覧になったことは。」

議会だよりはよく読んでいます。ケーブルテレビの議会の放送はなかなか観られないので、動画投稿サイトなどで観られたらいいのになと思っています。

「京丹波町に対する思いや望まれることは。」

若い方に、京丹波にもっと誇りをもって、住んでいただけるようになればいいなと思っています。

(記者 山崎)

今号より、表紙を刷新いたしました。「京丹波」の文字は、岩崎純一氏(須知区)の揮毫によるものです。

議会の傍聴に
おこしください!

今回の議会日程は次のとおりです。

3月定例会

3月4日(火)

午前9時から

編集後記

議会だより38号がみなさんのお手元に届くころには、ソチ・オリンピックで日本選手の活躍に「喜一憂」されていると思います。

昨年11月に「合併して良かったと思える町」の実現を目指し、2期目の寺尾町政が誕生しました。

本号は12月定例会が中心の内容となりました。私たち広報委員は議会が見える広報、みなさんが読みたくなるような広報が届けられるよう張り切っています。が、何分素人ですので、お気づきの点やご意見、ご希望をお寄せください。お待ちしております。

(山下)



「お店を引き継がれたのはいつですか。」

生まれも育ちも京丹波で、母親